

# 少数色覚をお持ちの方へ 研究協力をお願い

九州大学芸術工学研究院 感性多様性研究室では、色覚の多様性をテーマに、遺伝子と経験の相互作用により、どのように個人に固有の感性や個性が作られていくかについて研究を進めています。

## 背景

ヒトには遺伝子の違いによる色覚の多様性が存在します。ヒトの一般的な色覚は3色型色覚ですが、数%の人は2色型色覚や2色型に近い3色型色覚を持っており少数派です。また、2色型、3色型の中にもさらなる多様性があります。一般的な3色型色覚以外は色覚異常、色弱と呼ばれることもありますが、2017年に日本遺伝学会が、“色覚多様性”という概念を導入したように、個性の一つであるという考え方が広まってきています。しかし、色覚多様性の研究はまだ十分ではなく、視知覚や感性にどのような違いがあるのかは十分にわかっていません。ある人が、他の人がどのように感じているかを体験することはできません。そのため、視知覚の研究を通して多様性を理解していく必要があると考えています。

## お願いしたいこと

そこで、少数色覚をお持ちの方々に、今後数年に渡り実施予定の以下の調査の中から、いくつかにご参加いただければ幸いです。日程は、メール等でのやり取りにより、それぞれの調査にご参加いただく日時を決定いたします。

## 予定している調査

調査1. 絵画鑑賞と視線計測（所要時間：約3時間）：そろそろ調査終了の予定です。

調査2. 色と温度の関連づけ（2時間）

調査3. 視覚刺激に対する簡単な課題（所要時間：約2時間）

調査4. 視覚刺激に対する簡単な課題を行いながら脳波を測定（所要時間：約3～4時間）

- \*調査2の色と温度関連づけでは、言葉を理解できるくらいの年齢の小学生、中学生、高校生を特に募集しています。
- \*本研究は、様々な色覚型を異常ではなく人の多様性の一つと捉え、感性の多様性を研究することを目的としており、個人の能力を調べるのが目的ではありません。研究成果は多様性に配慮した視覚デザインや、多様性に寛容な社会の仕組みづくりに役立つと考えます。
- \*交通費はお支払いできないのですが、謝礼として一時間あたり2500円を口座振込みいたします。

## 連絡先

九州大学芸術工学研究院 感性多様性研究室

e-mail: [divsense@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:divsense@design.kyushu-u.ac.jp)

研究室HPのコンタクトページからのご連絡でも大丈夫です。QRコードはこちら →



研究室 url: <http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~divsense/index.html>

研究責任者：平松千尋（九州大学芸術工学研究院）